

## 花川病院 地域連携相談センター 佐野 真紀子

**功 績** 新型コロナウイルスの影響で、様々な物資が不足する中、透明度のあるクリアファイルやラミネートを利用しフェイスシールド作成し急場を凌いだ。その後、石狩医師会が推奨するフェイスシールドの作成を担い、喬成会全体の各部署へ必要な個数を手作りし配布し、低コストでかつ職員の安全を守り、安心して業務に専念できるよう寄与した功績。

**推 薦 者** 金子 宏美

**推 薦 理 由** 看護師・言語聴覚士・放射線技師・歯科衛生士等患者さんと常に濃厚接触するスタッフ、疑似患者対応するスタッフひとり一人の安心・安全な患者対応に寄与し、コスト削減（既製品のフェイスシールド¥180/枚、クリアファイル¥22/枚、ラミネート¥32/枚）にも繋がり、患者さんご家族の橋渡し役とアイデア、スピード感ある対応は職員の模範となりますので理事長賞に推薦致します。

### 内 容

---

新型コロナウイルスの影響で、マスクや手指消毒液、手袋など様々なものが不足する中で、疑似患者発生した際、クリアファイルやラミネートでフェイスシールドを作製し、後に石狩市医師会で推奨するゴムバンドなしのフェイスシールドを大量に作製し、喬成会全体の各部署で即日使用できる環境を整え、コスト削減と職員の安全・安心なケアの対応に繋がった。

また、近隣病院・施設でクラスターが発生し更に嚴重警戒態勢となり、面会禁止・外部ボランティアさんの立ち入りも禁止等の対策を実施。洗濯物受け渡し、生活活性化活動としてコーヒーサービス・栄養科と連携しおやつ提供、患者さん・ご家族からのご希望より写真・手紙の受け渡し等各スタッフの協力も得て実施した。